

校訓 「高い理想 清い心 熱い想い」 文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

進学・進級へ向けて

令和2年度もあとわずかとなりました。それぞれの児童が、今の学年のまとめに取り組み、次の学年へ向けての準備を行っています。昨年の4月と比べると随分たくましくなりました。コロナ禍ではあっても確実に成長している子どもたちを、頼もしく感じています。

校訓「高い理想 清い心 熱い想い」よいつまでも・・・

令和元年10月15日に校訓制定式を行い、本校の校訓がスタートしました。校訓は現在の児童・保護者・学校職員だけのものではなく、卒業したあとも、地域の方々と共に大切にしてほしいものです。校訓制定式において、児童代表が次のように話してくれました。

「『高い理想』をもって、ともに学び合います。『清い心』をもって、ともに協力し合います。『熱い想い』をもって、ともに優しくたくましく成長します。校訓とは、常に心の中にあるものだと思います。小学校生活だけでなく、校訓は人生の中でも大切なものだと思います。いつまでも忘れないように心に刻んで、明るい未来と伝統を守ることを決意します。」

来年度の創立20周年記念式典において、校訓碑除幕式を開催する予定です。

3年間、お世話になりました

祇園小学校の校長として3年間、たいへんお世話になりました。教室不足などにより工事続きの3年間だったと振り返っています。仮設校舎もできて教室不足は解消されました。また、後世につなぐ校訓の制定も行うことができました。後半はコロナ禍により、思うような教育活動ができませんでしたが、子どもたちはそれぞれに成長をしました。ご支援とご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に心から感謝申し上げます。

祇園歴史の旅（その83）「100周年の祇園小その2（勝手に未来予想）」

100周年の祇園小学校を期待と希望を込めて勝手に予想してみます。（前号から続く）中でもびっくりしたのは、空飛ぶバス、車、人（ドラえもののタケコプターのようなものを付けて飛んでいる人）など、空の空間が活用されていることです。安全な自動運転と空の高さによる区分けで事故はないそうです。体力増進のため、児童は歩いて登校しています。車のいない道路を広々と歩いています。ランドセルもなく、手には何も持たずに登校しています。たくさんの大人の人も一緒に歩いてきます。小学校と公民館、図書館、商店、食堂、病院などが一体となった複合型高層建築の中で学校生活が行われています。自宅でパソコンやタブレット等を使って学ぶ方法が主流となった時期もあったようですが、人と人との交流の大切さが見直されたくさんの人が交わる空間ができたのだそうです。飛び級制度が導入され、学年の枠を超えた豊かな学びが展開されています。

児童が学ぶ教室では、お年寄りを始めとする大人も一緒に学んでいます。大人の一番人気は「歴史」の授業です。歴史と伝統は、子どもから大人までをつなぎます。「地域の歴史・学校の歴史」が特に人気があり、祇園小学校の校訓についても学ばれています。祇園小学校で学んでよかったと皆が思っています。祇園小学校創立100周年の歴史を振り返ると共に200周年の時代にはどうなっているか、児童もお年寄りも活発に意見を出しています。笑顔で学ぶ児童とお年寄りの姿に、平和で豊かな時代がいつまでも続くようにとの思いを強くしました・・・。（終わり）

～祇園小学校ホームページの「学校紹介」の中に「祇園歴史の旅」（その1から83まで）を掲載していますのでご覧ください。3年間のご愛読誠にありがとうございました。～